

品目名	数量 (キロダ)	増減率 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
果実・その調製品	28,924,310	-10.9	27,735,812	-5.9
果実(生鮮・乾燥)	14,517,713	-25.2	16,113,766	-15.2
温州ミカン等(生鮮・乾燥)	614,086	-20.9	666,280	-10.3
ブドウ(生鮮)	471,630	-31.0	1,591,896	-33.5
メロン(生鮮)	719,701	-10.2	805,617	-9.8
リンゴ(生鮮)	8,664,217	-31.1	5,103,617	-27.3
ナシ(生鮮)	158,860	-52.4	135,141	-50.8
モモ・ネクタリン(生鮮)	1,342,182	-32.6	1,882,243	-27.8
イチゴ(生鮮)	2,165,205	22.3	5,300,377	22.2
カキ(生鮮)	42,568	-21.0	36,860	-14.9
クリ(生鮮・乾燥)	630	40.0	1,283	40.1
果実缶・びん詰等類	13,988,564	10.1	11,416,117	11.6
果汁	7,159,298	5.5	4,456,033	10.1
その他の果実調製品	418,033	16.3	205,929	-18.1
野菜・その調製品	—	—	10,956,526	12.2
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	—	—	5,839,333	17.8
野菜(生鮮・冷蔵)	2,223,813	-7.5	872,655	-0.1
キャベツ等	844,060	-18.1	205,380	-6.9
レタス	24,684	-57.3	6,464	-56.4
ダイコン・ゴボウ等	316,100	-14.8	185,546	21.6
乾燥野菜	95,546	11.5	369,627	106.3
乾燥豆(さやを除いたもの)	—	—	13,150	-46.1
サツマイモ(生・蔵・凍・乾)	4,914,354	21.7	2,142,268	21.2
ナガイモ等	4,682,515	-3.0	2,420,236	14.6
その他の野菜調製品	5,934,161	2.8	5,117,193	6.4
冷凍野菜	1,551,671	5.8	996,859	12.8

財務省「貿易統計」より

1～8月の農林水産物等輸出額

前年同期比15.0%増

青果は主力果実が減少

今年1～8月累計のわが国農林水産物・食品の輸出額は、前年同期比15.0%増の1兆579億円となった。

品目別では緑茶、ホタテ貝、ブリ、輸出先国別では米国、中国、韓国が伸びている。しかし「果樹・野菜等」は386億9200万円の前年同期比1.4%減少。とくに果樹の主力であるリンゴ、ブドウ、モモが軒並み大きく減少している。

青果物輸出額の増減は国内のように価格の変動ではなく、主に輸出货量に左右される。現地での需要の増減、国内産の不足で輸余力がなくなるなどだ。

その中で近年指摘されるのが、韓国や中国で生産されている、安価な「現地産シャインマスカット」などの台頭。品質向上も著しく、日本産に近づいている商品もあるという。

右表は主な品目別で見た1～8月の輸出動向。果実で増加しているのはイチゴなどに限られている。また野菜ではサツマイモが引続き数量、金額とも増加して

一方、多くの国で需要が高まっているのが緑茶で、1～8月期は380億2500万円と、前年同期比76.2%も増加。

「抹茶ブーム」によるもので、高品質な日本産が「海外の抹茶ブーム」に国内供給が追いつかない状況(日本茶輸出促進協議会)という。

き数量、金額とも増加して